

Developing a scale for Japanese public health nurses supporting resident groups toward community-building

阿部, 朱美

<https://hdl.handle.net/2324/7182332>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (看護学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)



氏 名	阿部 朱美			
論 文 名	Developing a scale for Japanese public health nurses supporting resident groups toward community-building (住民グループが地域づくりに発展するための日本の保健師の支援尺度の開発)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	藤田 君支
	副 査	九州大学	教授	諸隈 誠一
	副 査	九州大学	教授	疋田 直子

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、住民グループが地域づくりに発展するための保健師の支援尺度を開発し、その信頼性と妥当性を検証することを目的とした。地域づくりに発展した住民グループの支援経験を有する保健師 11 人を対象に半構成的インタビュー調査を行い、支援項目を質的帰納的に整理した。専門家に内容妥当性の検討を依頼して修正し、最終的に 40 項目の尺度原案を作成した。市区町村で働く保健師 1,924 人を対象に自記式質問調査を行い、保健師の属性、支援した住民グループの発達段階、尺度原案、外的基準に関する項目を尋ねた。

分析対象は 570 件であった（有効回答率 29.6%）。アルファ因子法、プロマックス回転による因子分析を行った結果、30 項目 4 因子を採用し尺度とした。4 因子は「住民、グループ、行政とつながる機会の創出」、「組織力向上による活動の活性化の促進」、「安定した組織運営の推進」、「地域の健康課題と活動方針を見直す機会の提供」と命名した。尺度のアルファ係数は 0.944、テスト・リテストの信頼係数は 0.923 であり、内的整合性と安定性が確認された。基準関連妥当性について、保健師専門職務遂行能力尺度との相関が認められた ($r = 0.388$, $p < 0.01$)。共分散構造分析による適合度指標は $GFI = 0.835$ 、 $AGFI = 0.807$ 、 $CFI = 0.869$ 、 $RMSEA = 0.071$ であり、概ね適合を示していた。

開発した尺度は、住民グループが地域づくりに発展することを支援する保健師の活動を測定する尺度として、一定の信頼性と妥当性を有すると考えられた。

本研究は保健師による地域支援活動の評価方法を示したもので、意義ある結果と考えられる。予備調査において、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行ったが、いずれについても適切な回答を得た。よって本論文は予備調査委員合議の上、博士（看護学）の学位に値する論文として価値あるものと認める。